

企画競争実施結果の公表について

令和6年11月29日
北海道開発局室蘭開発建設部

業務名 火山地域防災力向上検討支援(苫小牧砂防海岸事務所)
 特定企業 企業名 : 特定非営利活動法人 土砂災害防止広報センター
 住所 : 東京都中央区日本橋中洲4番11号
 代表者 : 緒摺 英章
 決定日 令和6年11月26日

| 評価項目 | 評価の着目点 | | | 特定非営利活動法人 土砂災害防止広報センター |
|--|--|---|--------|---------------------------|
| | 項目 | 内容 | 配点 | 配点 |
| 企画提案書の提出者 に対する要件 | 過去10年間の同種又は類似業務の 実績の内容・件数 | 企業の同種又は類似業務の実績は、企画競争参加資格 の要件を確認するために用いるため、これらを満たさな い者の企画提案書の特定は行わない。 ①同種業務 火山砂防における地域防災支援プログラムに関する業 務 ②類似業務 火山砂防における地域防災に関する業務 ③業務実績がない場合は特定しない | 数値化しない | 数値化しない |
| 予定管理技術者の経 験及び能力 | 過去10年間の同種又は類似業務の 実績の内 | 同種又は類似業務実績(平成26年度以降) ①同種業務 火山砂防における地域防災支援プログラムに関する業 務 ②類似業務 火山砂防における地域防災に関する業務 ③業務実績がない場合は特定しない | 数値化しない | 数値化しない |
| ワーク・ライフ・バランス 等の推進に関する指標 の適合状況 | 女性の職業生活における活躍の推進 に関する法律に基づく認定等(えるほ し・プラチナえるほし認定企業、一般 事業主行動計画策定企業) | 下記の順位で評価する。 ①「プラチナえるほし認定」:5点 ②「えるほし3段階目の認定」:4点 ③「えるほし2段階目の認定」:3点 ④「えるほし1段階目の認定」:2点 ⑤一般事業主行動計画(計画期間が満了していないもの に限る。)を策定・届出(常時雇用する労働者の数が100 人以下の企業に限る。)をしている場合には優位に評価 する。:1点 | 5 | 1 |
| | 次世代育成支援対策推進法に基づく 認定(くるみん・プラチナくるみん・トラ イくるみん認定企業) | ⑥「プラチナくるみん認定」:5点 ⑦「くるみん認定」:3点 (令和4年4月1日以降の基準) ⑧「くるみん認定」:3点 (平成29年4月1日～令和4年3月31日までの基準) ⑨「トライくるみん認定」:3点 ⑩「くるみん認定」:2点 (平成29年3月31日までの基準) を取得している場合には優位に評価する。 | | |
| | 青少年の雇用の促進等に関する法律 に基づく認定(ユースエール認定企 業) | ⑪「ユースエール認定」を取得している場合には優位に 評価する。:4点 | | |
| | 複数の認定等に該当する場合には、最も配点が高い区分により加点を行う。 | | | |
| 業務実施体制 | 業務分担及び業務実施体制の妥当 性 | 業務実施に必要な分担が的確に記載されている場合は 優位に評価する。なお、下記に該当する場合は、特定し ない。 ① 業務の分担構成が不明確又は不自然な場合。 ② 再委託の内容が主たる部分の場合、再委託理由が 記載されていない場合又は不明確な場合。 ③ 記載がない場合。 | 数値化しない | 数値化しない |
| 小計 | | | 5 | 1 |
| 〈評価テーマ〉 有珠山の火山地域に おける地域防災力向上 を考慮した火山砂防事 業効果啓発プログラムの 企画に関する留意点 | 的確性 | 地形、環境、地域特性などの与条件との整合性が高い 場合に優位に評価する。 | 10 | 6 |
| | | 着目点、問題点、解決方法等が適切かつ論理的に整理 されており、本業務を遂行するにあたって有効性が高い 場合に優位に評価する。 | 10 | 8 |
| | 実現性 | 提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。 | 10 | 6 |
| 提案内容を裏付ける類似実績などが明示されている場 合に優位に評価する。 | | 10 | 10 | |
| 技術提案 小計 | | | 40 | 30 |
| 合計 | | | 45 | 31 |